

選択・施工上の注意

施工環境 |

原則として内装使用

リアテックは一部商品を除き、原則として内装用途にお使いください。

施工環境(ホコリ・チリ)

施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて水をまく等、防塵対策を行ってください。本品と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。

照明

必要に応じて照明器具を使用し、明るい環境で施工してください。施工環境が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

湿度

下地に湿気があると施工できません。下地を十分に乾燥させた後に施工してください。

静電気

空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をかけてください。

施工温度

【施工温度】

- ・本品の施工可能温度範囲は12～38℃程度ですが、最適な施工温度範囲は20～25℃程度です。
- ・現場で本品を保管する場合は、直射日光を避け、温度は38℃以下で保管してください。
- ・施工後の急激な温度変化はフクレ・目隠の原因となるため避けてください。

【低温時(12℃未満)】

- ・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。また、低温時はフィルムが裂けやすくなりますのでご注意ください。

【高温時】

- ・直射日光が当たる下地面は、極端に接着力が強くなり、貼り付け後の微調整も困難で作業性が悪くなります。この場合は時間帯をずらして、下地が冷めるのを待ってから施工してください。
- ・高温時はフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。
- ・スチール下地への施工の際は、直射日光が当たる場所は冬季でも高温になっている場合がありますのでご注意ください。

R面施工でのドライヤー使用

本品を折り曲げて施工する場合、商品によってはR面部分が白くなる場合があります。ドライヤーなどで温めながら貼り付けるか、貼り付けた後に温めてください。

下地調整 |

下地の清掃

下地表面の水分やゴミ・油分などを完全に除去し、汚れのないよう清掃してください。

下地の平滑・乾燥

下地は必ず凹凸がなく平坦で乾燥している状態で施工してください。

シーラー・パテ・プライマー

下記の表を参考にシーラー・パテでの処理後、より強く接着するためにプライマー処理をおすすめします。専用プライマーはRTⅡ、RP-100、RA、RSです。

コーナーテープ

コーナー部分には必ずコーナーテープをご使用ください。

養生テープ・粘着テープ

養生テープ・粘着テープなどを本品表面に長時間貼ったままにしないでください。べたついてきれいに剥がせなくなる場合があります。

下地の色の影響

下地の色が本品表面の色に影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

傾斜面や水平面への施工

傾斜面や水平面に施工した場合の耐用年数は垂直面の場合と比較して短くなります。

ベニヤ下地の油分除去

ベニヤ合板下地については油分をよく拭き取ってから施工してください。

下地の継ぎ目の固定

ケイ酸カルシウム板、石膏ボード、合板下地の継ぎ目部分はビスやタッカーで完全に固定してください。貼り付け時に本品を圧着することで下地が動き、パテが割れる場合があります。

無垢材等の接着不良・フクレ

無垢材、集成材、真鍮、銅、鉛下地は、接着不良によりフクレが生じることがありますので施工しないでください。

ガラスへの施工

ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。ただし直射日光が当たる場合は、粘着剤が劣化したり、ガラスが熱割れを起こす場合があります。また本品の裏面には塩化ビニル製を表す∞PVCマークが印刷されていますので、ガラス面から透けて見える場合があります。

下地調整一覧 |

下地／工程	前処理	シーラー処理	パテ処理	サンディング	表面清掃	プライマー処理
石膏ボード	釘頭・段違い処理	－	セレクト(上塗)／エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100/RA
ケイ酸カルシウム板	釘頭・段違い処理	シーラーS	セレクト(上塗)／エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RA
モルタル	金こて仕上げ乾燥状態確認	シーラーS	セレクト(上塗)／エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100
焼付塗装鋼板	錆・油脂成分除去	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS
電気亜鉛めっき鋼板	錆・油脂成分除去	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100/RS
アルミニウム板	錆・油脂成分除去	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RS
ステンレス板	錆・油脂成分除去	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100/RS
ガラス	－	－	－	－	アルコール	－
シナベニヤ合板 ラワン合板	釘頭・段違い処理	シーラーS	セレクト(上塗)／エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100/RA/RS
MDF	釘頭・段違い処理	シーラーS	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTⅡ/RP-100/RA/RS
塩ビ鋼板	表面状態確認	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS
メラミン化粧板 ポリエステル化粧合板	－	－	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS

※表面清掃のアルコールは必要に応じてご使用ください。

選択・施工上の注意

裁断・貼り

カット・引き出し時のキズ

ロール状の本品をカットしたり巻き直したりする際は、表面にキズがつかないように床や作業台の養生を行ってください。

床置きせずロール状に立てる

裁断した本品の一時保管は、離型紙が内側になるように巻き、端部をマスキングテープで仮止めて立ててください。裁断した本品を引きずったり表面を直接床につけないでください。表面にキズがついたり、破損するおそれがあります。

平面状にすると剥離

ロール状の本品を引き出して平面状にすると離型紙とフィルムが剥がれることがありますのでご注意ください。

ロットによる差異

本品は厳正な品質管理を行っておりますが、ロットにより多少の差異が生じる場合があります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。

方向性

本品は単色であっても方向性があります。裏面の離型紙ロゴを同じ方向に合わせて施工してください。本品の裁断位置により突合せ部の左右の濃さが極端に異なる場合がありますので、裁断位置や貼る方向にご注意ください。なお、エンボスにも方向性があります。逆方向に貼ると光線の加減で色違いに見える場合がありますのでご注意ください。

リピート

本品は製法上、リピートを正確に合わせることはできません。ジョイントをする際は事前にご確認ください。

ジョイント(突合せ施工・重ね切り)

突合せ(重ね切り)施工の際は施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色の場合は目立つことがあります。下地に同系の色を塗っておくことをおすすめします。ジョイント部分の下地にはプライマーを2度または3度塗りしてください。また本品を突合せ(重ね切り)する際は下地を切らないように注意してください。目隙の原因となります。

ジョイント(重ね貼り)

重ね貼りする際は、重ねる部分にプライマー RP-100またはRSを塗布し、乾燥させてから施工してください。その際プライマーがはみ出さないようご注意ください。

重ね貼りは不燃にならない

内装制限を受ける箇所について、既存の化粧フィルムの上に本品を重ね貼りすると、防火性能は取得できませんのでご注意ください。

出隅・入隅・三次曲面

出隅・入隅部分、また三次曲面に施工する場合は入念にプライマー処理を行い、接着強度を高めてください。

凹凸面のある下地

タイル面など、凹凸のある下地には施工しないでください。フクレや剥がれが発生する場合があります。

施工後

高温・多湿

常時50℃以上となる場所や、水中、湿度が高い場所への施工は避けてください。

最大強度

本品裏面の粘着剤は、時間の経過とともに下地との密着性が上がります。貼り替えなどで本品を剥がす際、種類によっては下地を痛める場合がありますのでご注意ください。

水まわりへの施工

浴室への施工には下記マークのついたリアテック抗菌・防かびタイプをご使用ください。

✦ 抗菌・防かび性能があります。

シートの表面から水分が浸透することはありませんが、端部や下地から水分が入り込むと接着不良を起こす恐れがあります。金属など含水しない下地をご使用になるか、端部への防水処理を十分に行ってから施工してください。

屋外への施工

屋外への施工には下記のお日様マークのついた本品、または高耐候リアテックをご使用ください。また、屋外に面したドアへの施工には、玄関ドアフィルムをご使用ください。

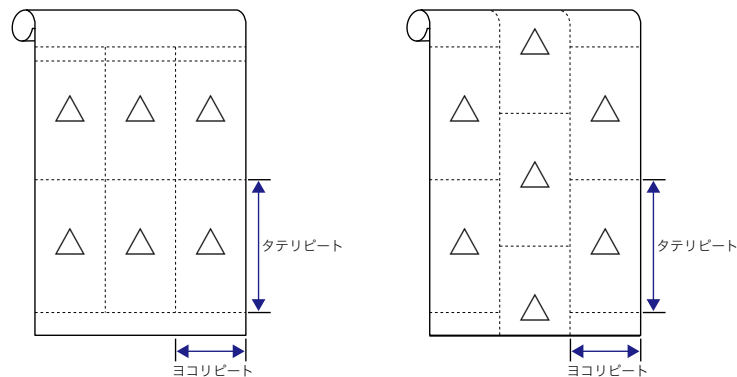
☀ 屋外垂直面使用で約3年の耐候性があります。

☀ 屋外垂直面使用で約5年または約10年の耐候性があります。

リピート図

並行送り

1/2ステップ送り



リアテックの全ての柄にはリピートがあります。製法上避けられないバラつきがありますので、リピート値は参考値とお考えください。同一商品においても生産時期、ロット、巻きによってリピートが異なる場合がありますのでご注意ください。この数値をもとにした材料取りや裁断を行わないようご注意ください。また、ジョイントをする際は事前にご確認ください。

エアスルー

本品はエア抜きが容易なエアスルー加工を採用しています。裏面の溝が空気の通り道をつくり排出するため、施工がすばやく簡単に行えます。

